

さあ、
公園にでかけよう

広報かしわが
リニューアル!

読みやすくなりました



NEW 広報かしわが 今号からリニューアルしました!

「柏市が皆さまにお伝えしたいこと」を精一杯届けたい!
柏の情報をより分かりやすく、一人でも多くのかたに。
「伝わる」広報を目指して、広報かしわを全面リニューアルします。

新生「広報かしわ」を よろしくお願ひします!

リニューアル

ポイント
1

初登場!
冊子型の広報かしわ



およそ70年の柏市の歴史の中で、初めてとなる冊子型の広報誌。発行回数を月2回から月1回に変更して、分かりやすくまとめた情報を全世界帯にお届けします。

リニューアル

ポイント
2

特集企画が
パワーアップ!



広報誌担当者の思いが詰まった特集企画。インパクトのある写真やインタビュー記事などを盛り込み、今伝えたい内容やメッセージをお届けします。ぜひ一度ご覧ください!

リニューアル

ポイント
3

ホームページやSNSとの
連携でより便利に



スペースに限りある紙媒体では、情報を簡潔に探しやすく掲載し、掲載しきれなかった情報は二次元コードから読み取ることで補足します。また、各種媒体を活用しながらタイムリーに情報をお届けします。

リニューアル

ポイント
4

毎号楽しみになる
連載企画をスタート!



工事現場の途中経過について紹介する企画、柏にまつわる数字の雑学、さらには生産者のこだわりや心のこもった「柏市ふるさと産品」が当たる企画など、毎号読みたいと思ってもらえるような連載を始めました。

リニューアル

ポイント
5

写真で柏を好きになる
「フォトコーナー」



これまで不定期で掲載していた写真コーナー「カシワフォトダイアリー」を毎号掲載し、柏の魅力やまちのニュースなどを写真でお伝えします。

CONTENTS ~目次~

4 特集

さあ、公園にでかけよう

10 ピックアップ Pick Up ~市の新しい情報などをお知らせします~

柏市公式LINEから住民票や印鑑登録証明書が取得できるようになりました/
新型コロナウイルスに関する情報/手賀沼花火大会を寄付で応援しませんか/
柏市民活動フェスタを開催 ほか

16 インフォメーション Information ~情報コーナー~

民生委員による声かけ訪問が始まります/図書館の利用登録がインターネットで可能に/
【連載】カシワ★ナンバーLABO/団体・サークルの催し/サークル会員募集/市民の相談室 ほか

30 【連載】潜入!! 工事現場 トチュー 途chuアフター

第1回 国道16号アンダーパス工事

31 カシワフォトダイアリー Kashiwa Photo Diary ~まちの出来事を写真とともに~

新校舎に胸が弾む 田中北小学校移転開校式/柏駅前にナチュラルガーデンが誕生
柏レイソル今季初勝利! スタジアムが歓喜に包まれる

32 【連載】かしわ愛を込めて ふるさと産品お届け便

第1回 しあわせのパスタソース

市長の スマイル通信

vol.16

柏市が皆さまにお伝え
したいことを届けます

広報かしわりニューアル第1号をお届けします。これまで親しんでいたいたタブロイド判からA4判の冊子型に変更することには迷いもありましたが、手に取りやすさを第一に考えて決断しました。リニューアル後、最初の特集は「公園」がテーマです。その中で取り上げているインクルーシブな遊具は、障害がある子もいない子も遊びやすい遊具です。柏ふるさと公園は、園内が比較的平たんで車いすでも利用しやすく、障害のあるお子さんが、隣にあることも発達センターなどに来た時にも立ち寄りやすいという理由から、設置する場所を選びました。公園という日常的な場所に、障害のあるなしにかかわらず気兼ねなく過ごせる「みんなの遊び場」をつくって、そこで一緒に遊んだ子どもたちが大きくなり、より共生の社会が進んでいくことを願っています。

新生・広報かしわのテーマは、表紙に掲げているとおり、「柏市が皆さまにお伝えしたいこと」。来月以降も、幅広いテーマの特集や市が取り組んでいること、まちのニュースなど、市民の皆さんにお伝えしたい、さまざまな内容を掲載します。月に1回、毎月下旬にポストにお届けしますので、ぜひご愛読ください。

柏市長

太田和美



はがき・ファクスなどの記入内容

①希望する講座・催し名 ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号※電話が困難な場合はファクス番号⑥(往復はがきの場合) 返信面の宛先

掲載情報の
見方

時=とき 所=場所 対=対象 定=定員 内=内容 講=講師 費=費用 持=持ち物 申=申し込み 交=交通 他=その他
問=問い合わせ ●費用で特に記載にないものは無料 ●対象や定員に制限のないものは、どなたでも参加可

特集

さあ、公園にでかけよう

公園は、大きな遊具や四季折々の植物があり、大人も子どもも楽しめるみんなの居場所です。今号では、市内にある公園で、特にこの時期おすすめの過ごし方や、自然環境・公園づくりに活躍するかたを紹介します。



1

柏の葉公園

汗を流して 体も心もぽかぽかに

45ヘクタールの広い敷地内に、豊富な遊具、四季を感じられる広場や庭園があるほか、野球場やコミュニティ体育館なども兼ね備えています。ここでは、子どもたちに人気の遊具や自然を感じる過ごし方を紹介します。

子ども連れのかた必見！
人気の遊具をご紹介します

数ある遊具の中でも、子どもたちに人気なのが大型の滑り台。幅が広いからこそ複数人が横に並んで滑ることができ、普段、滑り台を滑れない大人も子どもと一緒に滑ることがするのが魅力の一つです。

また、遊具のエリアでひと際存在感を放つのが、カラフルで巨大な複合遊具。さまざまな種類の遊具が一つのエリアに連なっていて、まるで冒険をしているかのような気分が味わえます。「登る・握る・滑る・渡る」など、さまざまな感覚を感じながら遊ぶことができ、楽しみながら考える力や体力、バランス感覚を育むことができます。

自然を感じて
大人もリフレッシュ

敷地内は1周およそ2キロメートル。朝早い時間でもランニングやウォーキングを楽しめます。公園内は、時間帯や季節によって変化する木々や花が豊富で、自然に囲まれてリラックスしながら汗を流せます。距離の目安を示す立て看板が



2



3

【問い合わせ】

公園緑地課

☎7167-1148・

FAX7167-2266



6

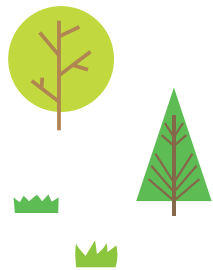


5



4

1 並んで滑れる幅1.5メートルの滑り台 2
3 7遊び方がさまざまな複合遊具 4 自然を感じながらウオーキング 5 水辺で心地よい風を感じられるスワンボート 6 茶室でほっと一息



7



世代を超えて 楽しめる魅力的な公園

私には世代の異なる4人の子どもがいますが、年齢が離れているので遊び方もさまざまです。柏の葉公園に来ると、小さい子は遊具で遊んだり、大きい子は広場で走り回ったり、サッカーやバドミントンをして遊んだりして楽しんでいます。



市内で子育てする
後藤乃里子さん

子どもたちだけでなく、私も友人同士でピクニックに来ることもあり、大人も楽しめることも魅力です。遊具は難易度の高いものもあり、子どもたちが今まではできなかったうんていが、いつの間にかできるようになっているなど、子どもの成長を間近で感じられることもあります。子どもを見守りながら、家族みんなで楽しめる公園が柏にあることがうれしいです。



県立柏の葉公園

所在地／柏の葉4丁目1
圃 柏の葉公園管理事務所
☎ 7134-2015 ・ FAX 7134-4613
◎ 詳しくは同公園のホームページをご確認ください



ホームページ

設置されているので、進んだ距離を意識しながら回るのも楽しみ方の一つです。
土・日曜日、祝日は4色のカラフルなスワンボートに乗ることが出来ます。自分で漕(こ)ぐタイプのボートで、友人と一緒に自然の風景を感じながら漕いでいると、より一層仲が深まるかもしれません。
遊んだ後の休む場所としても利用できるのが「松柏亭(しょうはくてい)」と呼ばれる茶室。池や日本庭園を眺めながら抹茶や和菓子、アイスクリームなどを味わっていると、その非日常的な空間に、疲れた心も体も癒やされます。
柏の葉公園は、子どもからお年寄りまで幅広い世代の憩いの場として親しまれている公園です。公園内をより便利で快適な空間にするため、今後、園内の緑や水辺を生かした飲食店・売店・休憩施設等を民間活力により導入する予定です。導入時期は来年度夏頃を予定しています。皆さんお楽しみに。



令和4年5月25日撮影 1



3



2



4

1 ポピーが咲き誇る風車前花畑 2 新緑が美しい日本庭園 3 新たに3種類のハスを植えたハス池 4 農業公園ならではの親子土いじり体験

あけぼの山農業公園

花の名所で 自然に囲まれ癒やされる

年間およそ50万人が訪れる市内有数の花の名所である、あけぼの山農業公園では、花や自然を身近に感じられるスポットがめじろ押しです。ここでは公園の見どころや注目イベントを紹介します。



自然とともに
変化し続ける公園

あけぼの山農業公園
鈴木 有希子さん

あけぼの山農業公園は異なる花が彩る花畑や緑あふれる庭園、ハス池など、自然に癒やされるスポットがたくさんあります。その中でも一番の見どころは、風車を背景に広がる花畑です。春はチューリップやポピー、夏にはひまわり、秋はコスモスなど、四季に合わせてさまざまな花が満開になります。花のない冬にはイルミネーションを飾り、どの時期に来ていただいても楽しめるように工夫をしています。

実は、風車周りだけでなく公園全体も変化しています。現在は、造園業者が主体となって、植栽や植物の伐採など、より良い景観と環境を目指して改善しています。そういった変化を発見して楽しんでもらえるとうれしいですね。

また、当園はイベントが多いことも魅力の一つです。5月の注目イベントのほかにも、体験イベントなどを通年で企画しています。ホームページやインスタグラムにも情報を載せていますので、皆さんの来園を心よりお待ちしております。



**初めて見る花に出会える
トライアルガーデン**

トライアルガーデンとは、「花や植物の活力や耐性に関する試験」のことで、これまで関係者しか立ち入ることができなかった栽培場から公園内広場に移設したことで、多くのかたが鑑賞できるよう

になりました。

昨年は500鉢のプランターを設置し、色とりどりの花を見るために、多くのかたが来園しました。今年もおよそ500鉢を設置する予定です。

この事業は海外での事例はあるものの、日本ではまだ珍しく、行政と民間が連携して実現した事業です。公園の気候や条

5色鮮やかな花と華やかな香りに癒やされます 6500鉢がずらりと並びます 7緑と花に囲まれてのんびり休憩タイム 8フラワーショップが多数出展。グリーンフェス 9フラダンスチームが踊りを披露。ハワイアンフェスティバル



トライアルガーデン

展示期間/10月下旬まで(予定)

あけぼの山農業公園

所在地/布施2005-2

行き方/▶柏駅西口から、三井団地行き・布施弁天行きバスで「土谷津入口」下車、徒歩8分▶我孫子駅北口から、あけぼの山農業公園行きバスで終点下車、徒歩1分▶我孫子駅北口から、あけぼの山公園入口行きバスで終点下車、徒歩7分

園 あけぼの山農業公園

☎7133-8877・FAX7132-5195



ホームページ

開花状況が
すぐに分かる!



Instagram



件に合う品種を探すことや、海外から輸入し市場に出回る前の品種の試験植栽も兼ねているので、普段目にするもののない品種に出会えたり、その品種が何年後かに園芸店で販売されたりすることもあ

5月の注目イベント

KASHIWA ハワイアンフェスティバル

公園内がハワイになる2日間! 初の企画となる本格イベントです。県内で活動するフラダンスチームがさまざまなステージを繰り広げます。会場には、キッチンカーやハンドメイド雑貨、アクセサリーなどの店舗が出店予定です。この機会に、ハワイの風を感じながら遊び尽くしてみませんか。

時5月13日(土)・14日(日)午前10時~午後4時

園 路地裏マルシェ KASHIWA ☎080-7152-7866

グリーンフェス

フラワーショップや造園業者などによる花市を開催。花苗、花木、観葉植物、多肉植物などを販売します。直売のため、栽培のプロから栽培方法など詳しい話を聞くことができるのも魅力の一つです。今年はキッチンカーや模擬店も多く出店しますので、新緑の中、芝生の上でのんびり食事を楽しんでみてはいかがでしょうか。

時5月27日(土)・28日(日)午前9時30分~午後3時※荒天中止

園 あけぼの山農業公園 ☎7133-8877

地域と共に 進化し続ける公園

公園をより使いやすく、過ごしやすくするために、地域住民や事業者などが連携して活動に取り組んでいます。ここでは地域のかたの声から誕生した公園の遊び場や、公園の活用を進める事例について紹介します。

インクルーシブに
配慮した日本初の遊具も

柏ふるさと公園に
みんなの遊び場が誕生



インクルーシブに配慮した日本初のターザンロープ



新たに誕生した「みんなの遊び場」

みんなの遊び場のポイント

- エリア内が平たんで車いすでも移動できる
- 木陰で子どもを見守るベンチがある
- 地面がゴムチップで舗装されていて転んでも安心
- インクルーシブな遊具が設置

インクルーシブとは

「全てを包括する・包み込む」という意味で、障害の有無や性別、人種などの違いを認め合い、お互いに協力し、助け合うといった社会政策の理念

アンケート調査から浮上した 地域の声を形に

「みんなの遊び場」の設置にあたり障害のある子がいる世帯へ、公園利用の実態調査を行いました。設置に対して多くのかたから賛同をいただいたのと同時に、「障害のある子どもが、気兼ねなく遊べる場所が欲しい」といった切実な思いが詰まった意見もいただきました。こうした皆さんの声が設置への大きな後押しとなり、今回の実現につながりました。

● 障害のある子どもが公園で遊ぶことへのハードル（主な意見）

・ 大声を出すことや順番待ちができないことでの「他者の目」

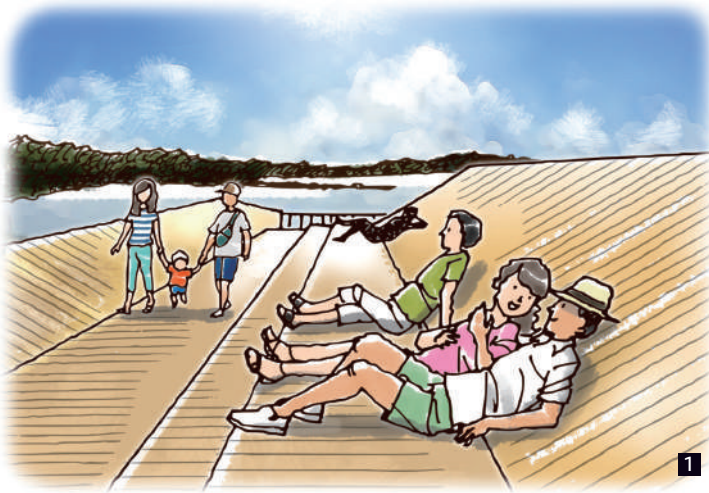
・ 複合遊具は自然と決められた使い方のルールがあり、そのルールを障害のない子と同じように守ることが難しい

遊び場の設置がインクルーシブな 社会への第一歩に

公園というフィールドに誰もが一緒に遊べる「遊び場」をつくることは、子どもたちみんなが協力して遊具を使う機会が生まれ、お互いを思いやる心を育むことにつながります。それは、子どもたちが大人になった時に障害者に対する偏見や差別をなくし、インクルーシブな社会の実現への第一歩になります。今後も、定期的な実態調査や多様な関係者と連携し、講座やイベント等を通じて、少しずつステップアップしながら「みんなの遊び場」の在り方を模索していきます。

手賀沼のほとりに くつろげるデッキを

「北柏ふるさと公園に隣接する手賀沼のほとりに、沼を一望しながらくつろげるデッキがあったらー」。一つの会議から生まれたアイデアが、実現に向けて動き出します。公園の利活用に向けて、町会・民間事業者・柏市みどりの基金の三者が連携する「キタカシまちづくり会議」を取材しました。



1



2

1 手賀沼を眺めながら寝転んでくつろげます(イメージ)
2 公園の未来について、斬新なアイデアが飛び交います
3 会議で議論を進め、公園でくつろげるカフェ「花小鳥」が最初に実現しました



3

誰もが共感する街づくり

「キタカシまちづくり会議」では、北柏ふるさと公園を核としてエリア内の公園をどう活用していくかをメンバーで話し合っています。

初めに、地域のかたがたに公園のこれまでと今後の使い方の希望などに関するアンケートを行い、公園の未来についての方針を作ったんです。

それを基にどう実現させていくのか、難易度はどれくらいなのかを取り組みごとにみんなで整理していきました。

デッキの設置もその中で生まれた方針の一つです。他国や他市でどのようにデッキが活用されているのかといった事例研究や現地調査をしたり、実証実験を行ったりしながら実現に向けて活動してきました。

街づくりは独り善がりではだめなんです。公園は皆さんが使う場所だと意識し会議でしっかり擦り合わせをして、自分たちだけでなく他の人からも評価、共感してもらえることが大切だと考えています。



北柏エリアの街づくりの包括的なコーディネートを担当
connel(コネル)代表
萩野 正和さん

街の変化がやりに

会議が始まった頃は公園にカフェを作ることに話し合っていました。アイデアは出て実際に動き出せていなかったところ、柏市みどりの基金と連携したことで計画が動き出し、実現できました。

この会議で集まるメンバーがそれぞれの役割を持っていて、それを合わせることでやりたいことが実現できているのだと思います。こうした活動へのモチベーションを持ち続けられるのは、町会の一員であり自分ごととして街づくりに参加できていることが大きいと思います。例えば、この会議がきっかけで大堀川に茂っていた草木を伐採したんですが、景観が変わり、とても気持ちのいい空間に生まれ変わったんです。その結果、変化に気付いて、地域活動に参加する人が確実に増えたと思います。

このまちを自分の居場所として思ってもらえるように、これからも活動を続けていきます。



北柏町会副会長
小齋 隆宣さん